付則 6

MFJカップ/地方選手権ロードレース大会 特別規則

MFJ ROAD RACE

1 公示

MFJカップおよび地方選手権は、国際、国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者を対象に、各地域で開催される競技会であり、本国内競技規則ならびに選手権ごとに定められる特別規則によって運営される。

2 地方選手権

2-1　地方選手権の対象種目

地方選手権対象種目は以下に定める。

JP250　・　J-GP3　・　ST600（ST600N）　・ST1000※　・　インターJSB1000（インターJSB1000N）

JSB1000クラスを除き、各クラスごとに、インタークラスとナショナルクラスのレースに区分される。

※2020年度よりナショナルJSB1000クラスは、ナショナルST1000クラスに統合されている。

2-2　参加資格

ナショナルクラス：ロードレース国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者

インタークラス　：ロードレース国際　ライセンス所持者

2-3　レースの形態

・インタークラスとナショナルクラスは、参加台数により混走する場合がある。

・ST1000、JSB1000クラスは、参加台数により、各施設で設定されている承認競技クラスとの混走する場合がある。

・ST1000クラスとインターJSB1000クラス構成

クラス名称	ライセンス	ワンメイクタイヤ	備考
ナショナル（Nat）ST1000	国内ライセンス	適用クラス	19モデルまでのJSB1000車両も参加可能　※
インター（Int）ST1000	国際ライセンス	適用クラス	
インター（Int）JSB1000	国際ライセンス	適用外クラス	

※ナショナルST1000クラスには、2019年モデルまでの公認車両に限りJSB1000仕様での参加を認める。ただし、タイヤワンメイク制度は適用される（暫定処置2025年度まで）。

同一の昇格ポイント、章典の対象とする。

・地方選手権ナショナルST600とインターJSB1000クラスには、同一メーカーの公認

車両間の互換性の認められた「Nクラス」が設定され、ST600とST600N、JSB1000とJSB1000Nクラスは、混走で車両区分にかかわらず、レースの結果に基づき、申請昇格ポイントが付与される。

2-4　賞および得点

2-4-1　賞の詳細については、公式通知に示される。

2-4-2　得点は、付則１MFJライセンス昇格・降格に関する規則　4　公認競技会で与えられる得点（ポイント）によって与えられる。

2-4-3　成績結果と昇格制度

大会の成績結果は、インター（国際）とナショナル（国内）クラスで別成績管理とする。

2-4-3-1　国内から国際ライセンスへの昇格制度（ポイント）はナショナルクラスの「国内ライセンス所持者」に与えられる。昇格は「申請昇格」とし、昇格希望者は、申請期間中に申請しなければならない。

フレッシュマンライセンスには昇格ポイントは付与されない。

2-4-3-2　「ジュニアライセンス」から「国内ライセンス」への申請昇格制度

ナショナルJP250、J-GP3クラス（J、RF、国内）の総合順位に応じて、ジュニアライセンス所持者に与えられる。

排気量クラス	クラス呼称	ライセンス	参加可否	昇格ポイント ○付与、×付与しない
JP250	インター（Int）JP250	国際	○	×
	ナショナル（Nat）JP250	国内	○	○
		フレッシュマン	○	×
		ジュニア	○	○国内への昇格制度
J-GP3	インター（Int）J-GP3	国際	○	×
	ナショナル（Nat）J-GP3	国内	○	○
		フレッシュマン	○	×
		ジュニア	○	○国内への昇格制度
ST600	インター（Int）ST600	国際	○	×
	ナショナル（Nat）ST600（ST600N）	国内	○	○
		フレッシュマン	○	×
ST1000	インター（Int）ST1000	国際	○	×
	ナショナル（Nat）ST1000	国内	○	○
JSB1000	インター（Int）JSB1000	国際	○	×
参加可否　○　参加できる　△　主催者による				

3 MFJカップ JP250

3-1　MFJカップJP250選手権

全日本選手権に併催するJP250クラスはMFJカップ選手権シリーズとする。

3-2　参加資格と参加定員および出場料

3-2-1　参加資格

ナショナルクラス：ロードレース国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者

インタークラス　：ロードレース国際　ライセンス所持者

3-2-2　参加定員

3-2-2-1　最大予選組２組までとする。

3-2-2-2　大会エントリー申し込みが予選出走組数を超える場合は、主催者により決定される。

3-2-3　出場料

１大会　出場料（本体価格＋消費税10％）：20,900円（19,000円＋1,900円）

3-3　レースの形態
インタークラスとナショナルクラスの混走レースとする。
決勝進出者の選出は、クラスにかかわらず各ライダーの予選ベストタイム順に選出される。

3-4　レースの運営
MFJカップの予選基準タイムは、**トップタイム上位３名の平均タイムの108%以内**
スタート進行は、17項の「スターティンググリッドとスタート方法」の17-2項が適用される。

3-5　基本スケジュール
公式予選・決勝は、基本的に土曜日に開催する。
競技会日程は、巻末（448頁）に示す。

3-6　賞および得点

3-6-1　賞の詳細については、公式通知に示される。

3-6-2　得点は、インター（国際）とナショナル（国内）クラス別に、「付則１MFJライセンス昇格・降格に関する規則　4　公認競技会で与えられる得点（ポイント）」によって与えられる。
MFJカップJP250選手権　ナショナルJP250クラスのシリーズランキング　国内ライセンス所持者上位５名に国際ライセンスへの申請昇格の権利が与えられる。ただし、フレッシュマンライセンスは除く。
ジュニアライセンス所持者は、シリーズポイント30点以上獲得した場合、国内ライセンスへの申請昇格の権利が与えられる。

3-6-3　ランキングの決定方法は、「付則１　MFJライセンス昇格・降格に関する規則　14　全日本選手権ランキング決定基準」が適用される。

3-6-4　特記

3-6-4-1　第３戦　筑波大会は、土曜日予選・決勝および日曜日決勝の２レース制を行なう。

4 ワンメイクタイヤ特別規則

地方選手権ST1000、ST600（ST600R含む）クラスおよびMFJカップ、地方選手権のJP250クラスのタイヤは、下記のタイヤ規則が適用される。

4-1　ワンメイクタイヤ

4-1-1　タイヤは、予選、（ウォーミングアップラン）、決勝を通じて使用本数が定められる。
ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

4-1-2　ウェット時のタイヤ使用本数制限は行なわない。ただし雨天時においてドライタイヤを使用する場合、マーキングされたタイヤのみ使用可能とする。

4-1-3　マーキングされたタイヤの破損
マーキングされたタイヤが転倒などの原因でタイヤ破損し、競技監督およびタイヤサプライヤーが走行不可と判断した場合、破損したタイヤを交換しなければならない。
破損タイヤは、主催者が保管し、決勝レースはピットスタートもしくは競技結果に30秒加算のペナルティーが科せられる。

4-1-4　タイヤ違反に対する罰則
ST1000、ST600、JP250クラスにおいて、タイヤ規制違反が発生した場合、以下の罰則を科せられる。

予選中　：当該セッションの予選タイム無効（マーキング違反の場合）
指定ワンメイクタイヤ以外の使用の場合　：失格
決勝中　：失格

4-2　ST1000

4-2-1　タイヤは、予選、決勝を通じて使用本数１セット（前後タイヤ各１本）が定められ、タイヤにマーキングされる（耐久レースは、大会特別規則による）。
なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。
ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライタイヤ	常にタイヤマーキングが必要
ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-2-2　タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。
ST1000指定タイヤ

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	KR149	M3	120/70R17
			KR149	H3	120/70R17
		リア	KR133	S1	200/60R17
			KR133	M1	200/60R17
	ウェット	フロント	KR189	WA	120/70R17
		リア	KR405	WA	190/60R17

・指定タイヤはドライタイヤが２スペック登録され、ライダーおよびチームは当該レース開催時の状況でどちらのスペックを使用するか選択できる。
ただし、指定タイヤ供給メーカーが登録したタイヤ以外のスペックのタイヤは使用できない。

4-2-3　ダンロップ指定表示
地方選手権のST1000クラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびダンロップ指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-2-3-1　ダンロップ指定表示

4-2-3-1-1　参加者は、MFJおよび大会主催者に「ダンロップ広告」スペースを提供しなければならない。

4-2-3-1-2　「ダンロップ広告」の範囲は図１、図２のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され､指定された位置および角度への貼付が義務づけられる。
その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

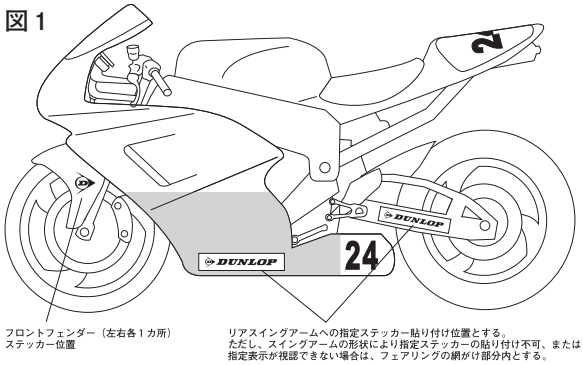
4-2-3-2　車両の広告スペース
下記の位置に貼り付けなければならない。

車両　ステッカー位置（図１）	ロゴタイプ ※	サイズ（横×縦）
フロントフェンダー（左右各1カ所）		6.0cm×7.5cm
スイングアーム（左右各1カ所） ただし、スイングアームへの貼り付け不可の場合、 フェアリング（左右各1カ所）の指定されたエリア	DUNLOP	22cm×4.3cm

・原則は、リアスイングアームへの指定ステッカーの貼り付けとする。
ただし、スイングアーム形状により指定ステッカーが貼り付け不可、またはロゴが視認できない場合に限り、指定されたフェアリング部分への指定ステッカー貼り付けを認める。左右より指定ステッカーが視認できること。

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなる。

図１



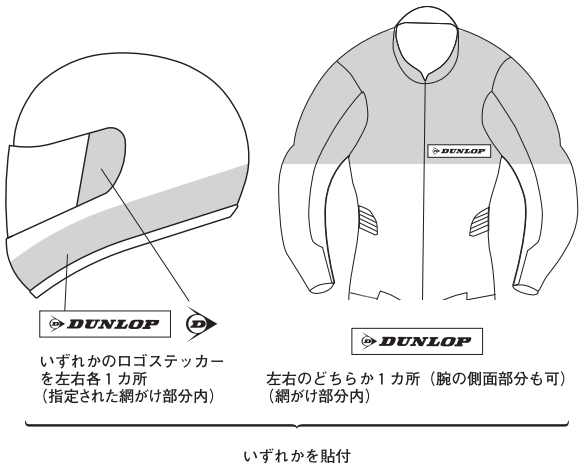
4-2-3-3　ヘルメットまたはレーシングスーツの広告スペース

下表いずれかの箇所に「DUNLOPまたはDUNLOP」ロゴステッカーまたはDUNLOPワッペンを貼り付けなければならない。

ヘルメット／スーツステッカー位置（図２）	ロゴタイプ ※	サイズ（横×縦）
ヘルメットのシールド脇（左右各1カ所） または、 ヘルメットサイド部分（左右各1カ所）のいずれか指定されたエリアに貼り付け		3.1cm×3.5cm
	DUNLOP	8cm×1.6cm
レーシングスーツ（前部分1カ所）	DUNLOP	10cm×2cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなる。

図２



4-2-3-4　上記、図１、図２のスペース以外の場所は参加者自身の特定の広告を貼付できるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。

拒否されるケース　他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼付も含む。

4-2-3-5　公式行事

公式行事（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のダンロップキャップの着用が義務づけられる。その場合は、他のキャップを被ることはできない。公式行事とは、以下をいう。

1．ライダー写真撮影（個別、集合写真）
2．公式記者会見（大会前、予選後、決勝後）および付随するインタビュー
3．表彰式

4-3　ST600

4-3-1　タイヤは、予選、（ウォーミングアップラン）、決勝を通じて使用本数１セット（前後タイヤ各１本）が定められ、タイヤにマーキングされる（耐久レースは、大会特別規則による）。
なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。
ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライ時・ウェット宣言中	ドライタイヤ	タイヤマーキングが必要
	ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-3-2　タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ
ブリヂストン	ドライ	フロント	BATTLAX RACING R11 NHS	120/600R17
		リア	BATTLAX RACING R11 NHS	180/640R17
	ウェット	フロント	RACING BATTLAX W01	120/600R17
		リア	RACING BATTLAX W01	190/650R17

刻印：ドライ、ウェットタイヤのサイドウォールに「NOT FOR HIGHWAY SERVICE」または「NOT FOR HIGHWAY USE」（一般公道走行不可）の記載のあるもの

4-3-3　ブリヂストン指定表示
地方選手権のST600クラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびブリヂストン指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-3-3-1　参加者は、MFJおよび大会主催者に「ブリヂストン広告」スペースを提供しなければならない。

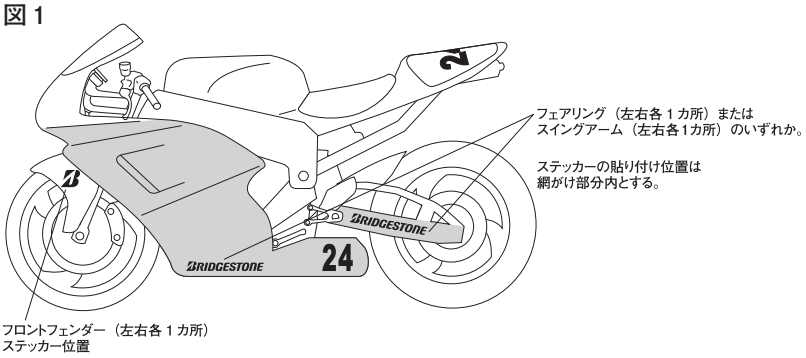
4-3-3-2　「ブリヂストン広告」の範囲は図１、図２（次頁）のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置および角度への貼付が義務づけられる。
その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。
レーシングスーツに貼り付けるワッペンについては有料となる。

4-3-3-3　車両の広告スペース
下記の位置に貼り付けなければならない。

車両　ステッカー位置（図１）	ロゴタイプ ※	サイズ（横×縦）
フロントフェンダー（左右各１カ所）		7.5cm×6.5cm
フェアリング（左右各１カ所）または スイングアーム（左右各１カ所）のいずれか。	BRIDGESTONE	25cm×3.5cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなる。

図１



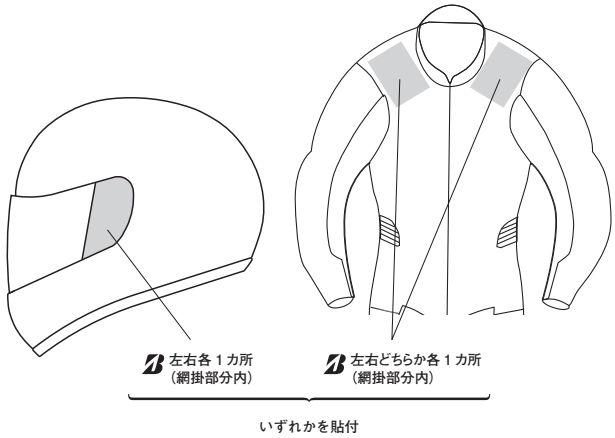
4-3-3-4　ヘルメットまたはレーシングスーツの広告スペース

下表いずれかの箇所に「BS」ロゴステッカーまたはワッペンを貼り付けなければならない。

ヘルメット／スーツステッカー位置（図２）	ロゴタイプ	サイズ（横×縦）
ヘルメット　シールドの脇（左右各１カ所）	BS	3cm×2.7cm
レーシングスーツ（前部分１カ所）	BS	6.5cm×6cm

※ロゴタイプのステッカーおよびワッペンは実物はカラーのものとなる。

図２



4-3-3-5　上記、図１、図２のスペース以外の場所は参加者自身の特定の広告を貼付できるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。

拒否されるケース　他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼付も含む。

4-3-3-6　公式行事

公式行事　（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のブリヂストンキャップの着用が義務づけられる。その場合は、他のキャップと併用して被ることはできない。

4-4　JP250

4-4-1　タイヤは、予選、（ウォーミングアップラン）、決勝を通じて使用本数１セット（前後タイヤ各１本）が定められ、タイヤにマーキングされる（耐久レースは、大会特別規則による）。

なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。

ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライ時・ウェット宣言中	ドライタイヤ	タイヤマーキングが必要
	ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-4-2　タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	110/70R17M/C 54H
		リア	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	140/70R17M/C 66H または150/60R17M/C 66H
	ウェット	フロント	DUNLOP RACING KR189（WA）	110/70R17
		リア	DUNLOP RACING KR389（WA）	140/65R17

4-4-2-1　使用できるタイヤは、下記表に示される各ホイール適合したサイズに合致したものに限定される。

ホイールサイズ	適合タイヤ（M/C）	
17×3.50	140/70R17	
17×4.00	140/70R17	150/60R17

4-4-3　ダンロップ指定表示

MFJカップ、地方選手権のJP250クラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびダンロップ指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-4-3-1　参加者は、MFJおよび大会主催者に「ダンロップ広告」スペースを提供しなければならない。

4-4-3-2　「ダンロップ広告」の範囲は図１のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置および角度への貼付が義務づけられる。
その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

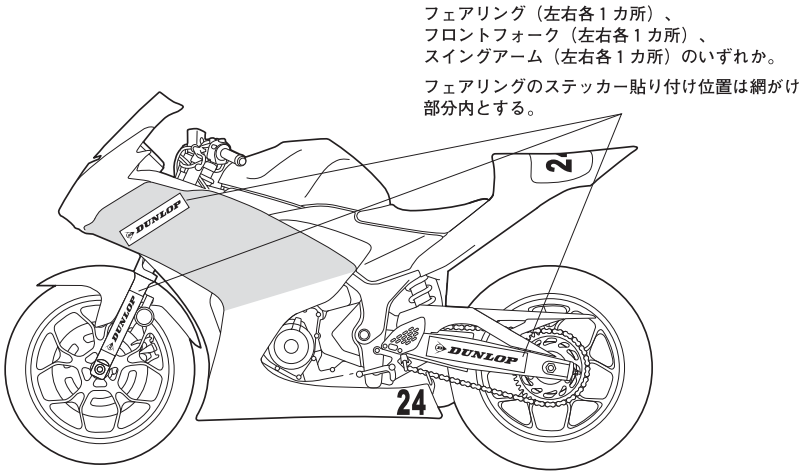
4-4-3-3　車両の広告スペース

下記の位置に貼り付けなければならない。

車両　ステッカー位置	ロゴタイプ ※	サイズ（横×縦）
フェアリング（左右各１カ所）、 フロントフォーク（左右各１カ所）、 スイングアーム（左右各１カ所）のいずれか。	DUNLOP	17cm×3.4cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなる。

図１



4-4-3-4　図１のスペース以外の場所は、ヘルメット・レーシングスーツ等、参加者の装具を含め、参加者自身の特定の広告を貼付できるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。
拒否されるケース　他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼付を含む。

4-4-3-5　公式行事

公式行事　（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のダンロップキャップの着用が義務づけられる。その場合は、他のキャップを被ることはできない。